

2022年度 併設校連携教育(結果)

PLAN(計画)		DO(実施)		CHECK(評価)		ACTION(次への改善)	
P:目標を策定、実現するための具体的な方法を考える。		D:計画を実行しその効果を測定する。		C:目標とその実践の差異、実践した行動の評価・分析を行う。		A:課題や問題点についての改善、対策を行い、次への「PLAN」へ繋げる。	
		実施状況(実施率)		評価		評価の理由/課題/根拠データ等	
併設校説明会参加率の向上 併設高校3年生在籍の17-20%入学実績確保		90%		併設校大学説明会については、全学科にて大学生が登壇。併設高校の先生方のご協力により昨年度を上回る参加実績を確保できた。入学者数は外部環境の影響及び併設校高校在籍者の少ない学年であることから苦戦したが、3年生在籍の17%-20%入学実績確保ができた。		・説明会全11学科にて大学生、もしくは卒業生参加。 今年度2年生参加104名(昨年103名) 昨年比101% ・入学実績 30/169=18%	
高大接続(相互交流)の拡大検討		90%		今年度新たに千早高校と神田女学園高校と全学的な高大接続協定を締結。会議内で随時報告し、各学部教務と各学部教員との連携の上で、高大連携プログラムをスタートした。千早高校には単位認定プログラムの案内を実施した。他、東洋女子高校への探究サポート実施や富士見高校、赤羽北桜高校との連携に向けて協議中。		・高大接続協定2校(千早高校、神田女学園高校) ・単位認定プログラム実施 ・東洋女子高校探究サポート実施	

2023年度 併設校連携教育

PLAN(計画)	
P:目標を策定、実現するための具体的な方法を考える。	
併設校説明会参加率の向上 併設高校3年生在籍の17-20%入学実績確保	
高大接続の推進 新たな連携プログラムの企画・実施	